

製品名: JNK2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02179**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 54 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAPK9 MAPK9; JNK2; PRKM9; SAPK1A; Mitogen-activated protein kinase 9; MAP kinase 9; MAPK 9;
別名	JNK-55; Stress-activated protein kinase 1a; SAPK1a; Stress-activated protein kinase JNK2; c-Jun N-terminal kinase 2
遺伝子 ID	5601
SwissProt ID	P45984
免疫原	ヒト JNK2 の合成ペプチド

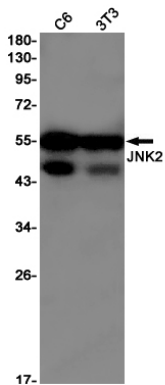
背景

ストレス活性化プロテインキナーゼ/Jun アミノ末端キナーゼである SAPK/JNK は、紫外線やガンマ線などの様々な環境ストレス、セラミド、炎症性サイトカイン、そして場合によっては成長因子や GPCR アゴニストによって強力かつ優先的に活性化されます。他の MAPK と同様に、コアシグナル伝達ユニットは MAPKKK (典型的には MEKK1-MEKK4) または混合系統キナーゼ (MLK) のいずれかによって構成され、MLK は MKK4/7 をリン酸化して活性化します。

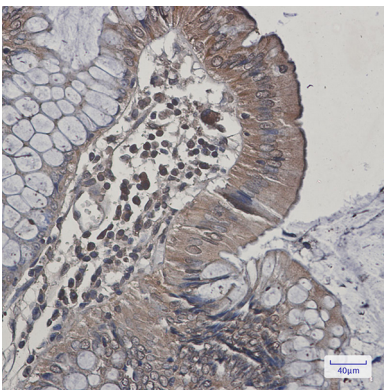
研究分野

シグナル伝達

画像データ



JNK2 抗体を使用した C6、3T3 溶解物中の JNK2 のウエスタン プロット分析。



JNK2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。